

早稲田大学日本語教育学会2023年度大会プログラム

開催日時 2023年9月30日（土）12:00～17:10

【会場】 早稲田大学早稲田キャンパス22号館2階(対面開催・一部オンライン配信)

【時間】 受付 11:30～ (22号館2階エレベーター前)
 開会式 12:00～12:10(22号館201号室)
 講演 12:20～13:50(22号館201号室・オンライン配信)
 交流ひろば 14:00～15:00(22号館201号室)
 口頭発表 14:00～15:10(22号館208号室)
 ポスター発表 14:00～15:00(22号館202～206号室)
 企画 15:20～16:50(22号館201号室)
 総会 17:00～17:10(22号館201号室)

【参加費】 学生会員・一般会員無料、維持会員1000円、非会員500円
 (対面参加、オンライン参加ともに事前申込者限定です。会員の方も事前申し込みをお願いします。
 非会員の方は、事前申し込みの上、指定された口座に参加費の振り込みをお願いします。)

※ オンライン配信のリンクは事前に参加希望者にメールでお送りいたします。

※ 本学会は紙媒体の予稿集は配布しません。9月23日より学会ホームページからダウンロード可能になります。
 ダウンロード、または、印刷の上、ご参加ください。

【講演】12:20～13:50

会場:22号館201号室・オンライン配信	
「CJLスタンダード」の開発と活用	久保田美子(早稲田大学日本語教育研究センター) 濱川祐紀代(早稲田大学日本語教育研究センター)

【交流ひろば】14:00～15:00

会場:22号館201号室	
漢字授業の工夫について話そう	劉羅麟(早稲田大学日本語教育研究科)
クラス内の学習者の母語多用と関係づくり	莫冠シ(早稲田大学大学院日本語教育研究科博士後期課程)
「日本語教師の専門性」を考えるための場づくりの紹介	藤原恵美(早稲田大学日本語教育センター)・寺浦久仁香(武蔵野美術大学)・ 野宮公美(早稲田大学大学院日本語教育研究科修士課程修了)
大学初年次の学部留学生に対する「要約力」を活かしたライティング指導の実践	湯浅千映子(大阪観光大学)

【口頭発表】14:00～15:10

会場:22号館208号室	
14:00～14:30	日本語ボランティアの「日本語教育観」を理解していく過程—地域日本語教育における様々な「型」を乗り越えるために— 上原龍彦(早稲田大学大学院日本語教育研究科修士課程修了)
14:40～15:10	メンタル不調を自覚する日本語教師(非常勤)のストレス要因—コミュニケーション不足による不満— 濱川祐紀代(早稲田大学日本語教育研究センター)

【ポスター発表】14:00～15:00

会場:22号館 202～206号室	
202号室	中国人日本語教師のキャリア形成についての一考察—複線径路・等至性モデルのTEM図を用いて— 呉慧(北京師範大学外国語文学学院博士後期課程)
203号室	上級学習者における待遇意識の変容に関する研究—依頼に関する失敗事例から— 韋夢瑶(早稲田大学大学院日本語教育研究科修士課程)
204号室	実践授業を通じて、教育観はどのように変化するのか—「状況」のなかで言語とコミュニケーションをとらえる授業」実践を事例として— WANNAWEK Wannawai・小林和香子・宮川裕士朗・NGUYỄN ĐỨC ANH・衣川明沙 (早稲田大学大学院日本語教育研究科修士課程)
205号室	ウクライナ避難民の支援とその困難—ウクライナ避難民を支援する1人の支援者の語りから— 小泉秋乃(早稲田大学大学院日本語教育研究科修士課程)
206号室①	中国人日本語学習者の学習意欲—シャドーイングが及ぼす効果— 張超凡(早稲田大学大学院日本語教育研究科修士課程終了)
206号室②	スーパーマーケットにおける読みの実践—買い物への同行調査の事例から— 神美妃(早稲田大学大学院日本語教育研究科修士課程)

【企画】15:20～16:50

会場:22号館 201号室	
日研修了生が語る「日本語教育と私のキャリア」—修了生との対話を通して自身のキャリアを考える— 【企画者】古賀万紀子(神田外語大学)・本間祥子(千葉大学)・鮑本弘平(早稲田大学) 【発表者】柳東汶(早稲田大学)・蔡函娟(富士通株式会社)・鮑本弘平(早稲田大学)	

以上